

当日は津波避難訓練のほか、虎杖浜地区で避難所設営訓練（炊き出し試食・防災研修・避難所資機材組み立てなど）を予定しています。

(1)全町一斉津波避難訓練 9時

防災行政無線放送で大津波警報を放送しますので、町内各地区の津波指定緊急避難場所へ避難してください。避難終了後、人数を確認後に解散してください。

(2)避難所設営訓練 9時30分～12時

- 場 所 虎杖浜生活館および駐車場
- 内 容 避難所設営訓練、警察・自衛隊・消防車両の展示

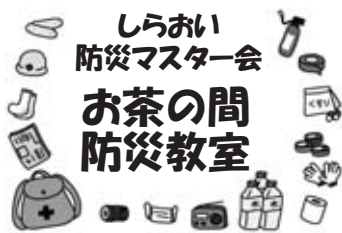


問い合わせ先：総務課 防災交通室 ☎85-3080

町内の防災団体・しらおい防災マスター会（吉村智会長）は、北海道地域防災マスター講習会で認定を受けた有志町民で構成。活動会員は現在、30代から80代の約50人。

災害にはどう備えたらいいのかを町民に考えてもらうため、自主勉強会の開催や出張防災講話（出前講座）ほか、災害時行動や避難所運営の図上訓練、防災かるたなど、分かりやすく身近な題材で防災知識の普及・啓発に努めています。

同会民部吉治事務局長が、これまでアンテナを張って蓄えたテーマの中から抜粋し連載で紹介します。



命を守る「津波てんでんこ」と避難三原則

この言葉を知っていますか。「津波てんでんこ」は、津波教育の基本です。三陸地方の言い伝えと、津波からの避難方法をつなげた言葉のようで、いつ何時起きるかもしれない津波災害に対し、家族がいち早くてんでんバラバラ（てんでんこ）に逃げることで家族全員が助かり、最悪の事態を避けられるという行動です。これは広くは災害弱者への手助けも含め、地域であらかじめ話し合っていて決めていなければなりません。家族間では厚い信頼関係の下で行う避難行動だと思います。普段から話し合っておきましょう。「避難三原則」は、群馬大学の片田敏孝先生が提唱した防災教育です。3番目については「率先避難者」という言葉で紹介されています。

<p>①想定にとられるな！ 「自然の力は人の想像をこえる」。防災ハザードマップはこれまであったことを参考にしてつくったひとつの例であって、かならずしも安全とは、いえない。そのことを頭のなかに入れておこう。</p>	<p>②どんなときも、全力をつくす！ 「自然が相手=どんなことでもありえる」。自然の猛威には、たちうちできないことがある。だからこそ自然をしっかりとおそれ、どんなときも、わたしたちができる最善のことをやる。</p>	<p>③第一番の避難者になろう！ 「ぼく・わたし」が本気でにげることで、まわりもつられてにげるはず。きみの行動が「みんなのいのちを助けることにつながる」。にげることは、はずかしいことじゃない。</p>
---	--	---

てんでんこ新聞社発行「てんでんこ新聞」から

(しらおい防災マスター会・民部)

ほくでんネットワーク LINEで停電情報をお知らせします！

エリア登録をすると、登録地域の停電発生・解消の情報を受け取れます。

いざという時に安心

最大4カ所まで地域選択が可能

簡単30秒で登録完了

お友だち追加はこちらから



問い合わせ先：北海道電力ネットワーク株式会社 蘭室支店 お客さまサービスグループ
☎0120-060-813（平日9時～17時）